

各学校における学校運営協議会の記録⑥

今年もよろしくお願いいたします。令和7年最初のレポートは、昨年末に実施された「取手小学校」「桜が丘小学校」「藤代中学校」の3校の学校運営協議会の様子です。



取手小学校

1 新委員の任命

2 熟議：テーマ：取小応援サポーター制度の運用について

- 人材確保を視点に、登録制の人材バンク型で募集、組織していきたい。
- 募集の際は、分かりやすい説明を付け募集する。
- 募集は、まず地域や保護者に向けて発信し、取り組みを重ねながら修正を図っていきたい。
- 広げ過ぎずに募集し、広報の仕方も検討していきたい。
- 募集においてはセキュリティーに配慮しながら、PDCAを活用し改善しつつ、3年、5年、10年スパンで持続可能な組織となるようにしていきたい。



4 次年度に向けて

- 学校運営協議会委員の受託確認とコーディネーターの推薦について

5 給食の試食・懇談と次回の学校運営協議会の内容等を確認し終了しました。 (12月18日実施)



桜が丘小学校

1 熟議：テーマ「グランドデザインの骨子について」

- まず、桜が丘小学校の先生方が実施した熟議による、次年度の学校の基本方針に係る内容と、11月に行われた市一括研修会の熟議で、委員さんから出された意見をまとめた結果を校長が伝えました。この二つに共通していたのが「心を育てる」こと、道徳教育を中心とするものであるため、校長がテレビ画面を使って自身のプランを説明しました。各委員さんは校長の説明内容に賛同し、多くの意見は出なかったものの基本方針の骨子を了承しました。



2 熟議：テーマ「見守り隊（仮称）の立ち上げについて」



- 学校と地域の連携に関して、学校が最も重視しているのが登下校の安全確保であることが話され、その点について「誰に、どのように依頼していくべきか」を熟議で話し合いました。これまでの経緯も踏まえ、自治会や老人会へのお願い、回覧板の活用などの意見が出されました。(12月18日実施)



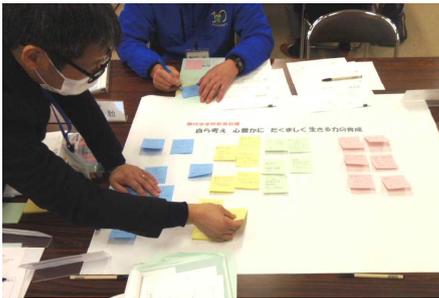
藤代中学校

1 授業参観

○全学年の授業を委員が自由参観しました。

2 熟議：テーマ「令和7年度学校教育の基本方針に関して」

○校長の次年度に向けた教育方針の大まかなプランの説明後、2グループに分かれて熟議を行いました。教育目標の実現に向けて必要な視点や教育活動に関する内容を各自が付箋紙に書き出し、各グループでまとめたものを皆で共有しました。今後はこうした意見を反映させて次年度の基本方針を校長が作成していきます。



3 次年度に向けての協議

○地域連携～今後の地域との連携活動について

- ・学校支援に関する教員希望調査の結果及び今後の課題について説明し、また、中学生による地域貢献について校長から提案しました。

○教職員の任用に関する情報交換を行いました。

○次年度の学校運営協議会の委員の任用・推薦について確認しました。
(12月19日実施)

茨城新聞で紹介されました！ 久賀小の取組

昨年12月16日（月）付の茨城新聞の第1面(!)に、「地域運営校 県内5割超『課題解決の場』期待」という大見出しで、取手市が進めている「コミュニティ・スクール（CS）」を紹介する記事が掲載されました。記事によると、文部科学省の調査では、24年度のCSの設置率は全国で約58%、茨城県は約55%に増えているとのこと。もちろん、取手市は「100%」ですね！

続く記事で、22年度から設置を始め、今年度全ての市立小中学校で設置された本市のことが書かれています。

はじめに、久賀小学校の「久賀小応援サポーター（KOS）」の取組が紹介され、コーディネーターの方の役割や幸田校長先生の「より充実した教育活動が可能になった。」「（防災は）学校と地域をつなぐテーマになる」といったコメントが記載されています。

また、石塚教育長の「子どもたちは将来、地域の担い手にもなれる」という、人材育成につながる期待のコメントも紹介されました。

さらに、いつも本市の一括研修会で講師をお願いしている、文部科学省の安齋宏之先生の、「CSの大きな役割は人をつなぐこと。」というコメントも載っていました。

茨城新聞社の記者の方が、一括研修会や久賀小学校の学校運営協議会にも来られ、取材を受けていましたが、こんなに大きく取り上げられるとは正直思いませんでした。本市が推進するコミュニティ・スクールが全県に紹介され、注目を集めることに、うれしさと同時にその期待の重さを感じています。これからも学校と地域の双方の活性化のために、皆さんとともにがんばっていきたいと思います！

♥茨城新聞の記事は、ネット上でも閲覧できますので、探してみてください（記事が削除されている場合があります）。

